

建設情報 Iwate

未利用地活用へ事業者選定

盛岡市立病院 12月中旬にも事業者決定へ

盛岡市立病院は、敷地内の未利用地の活用に向けて、民間事業者による高齢者用の住宅・施設等介護関連施設を誘致する。同病院は、事業者選定に向けて募集要項などを公表した。応募書類の受け付けは23日から11月15日まで。2段階の選考を行い、12月中旬にも借地予定事業者を決定する。

対象となる敷地は、同病院建物南側にある3554.31平方メートル。用途地域は商業地域で、容積率400%、建ぺい率80%となっている。同地については、2014年5月に借地予定事業者を決定したものの、予定事業者が内部問題から別法人を設立し、市と賃貸借契約を締結しようとしたため、市はこれを拒否し、訴訟に至った経緯がある。

裁判後に市は、近隣事業者に対するサウンディング調査や未利用地を取り巻く環境調査などを実施し、改めて内容を整理。その結果、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの住宅系サービスや施設系サービスを軸に、複数の機能を組み合わせた事業者を誘致するべきとの一つの方向性をまとめた「盛岡市立病院未利用地基本構想」を策定。市では、基本構想を踏まえて、未利用地を有料で貸し付け、民間事業者による高齢者向けの住宅・施設などの介護関連施設の誘致を目指す。誘致により、▽患者の確保▽地域包括ケアシステム構築への貢献▽収入の確保▽市民サービスの向上一などの効果が期待できるとしている。

事業者については、公募型プロポーザル方式で選定する。主な貸付条件は、「同病院からの住宅復帰先としての住宅・施設系サービスに関する事業の実施」「同病院から自宅に退院する患者等を継続的にフォローする訪問・通所等の在宅サービスに関する事業の実施」のどちらか一方を満たし、▽患者・家族・周辺住民・病院職員等が利用できる食堂・レストラン等の設置▽土地の貸付期間は10年以上50年以下▽貸付料は賃貸借契約締結後から発生一など4項目を全て満たすこととしている。

今回のプロポーザルの応募資格は、▽法人等(株式会社、社会福祉法人等)▽住宅・施設系サービスに関する事業や訪問・通所訪問等の住宅系サービスに関する事業の運営実績一などで、グループでの応募も可能としている。応募書類の受付期間は、23日から11月15日まで。11月22日に第一次選考(書類審査)と12月2日に第二次選考(プレゼンテーション審査)を行い、提案内容や提案価格などを総合的に勘案し、最も優れた提案者を選定する。同病院では、12月中旬にも借地予定事業者を決定し、年内にも覚書を締結したい考えだ。

22日には、応募予定者説明会・現場見学会が予定されている。参加申し込み期限は21日まで。

22日には、応募予定者説明会・現場見学会が予定されている。参加申し込み期限は21日まで。

盛岡市立病院の未利用地

スズマ測量設計が業務担当

県久慈審査指導 日吉(2)の治山測量設計

県北広域振興局久慈審査指導監は、簡易総合評価落札方式の「日吉(2)地区治山測量設計業務委託」を入札した結果、スズマ測量設計が468万円で落札した。業務は、治山ダムを設置するための測量・設計を実施するもの。履行期限は121日間となっている。

業務の対象地域は、久慈市小久慈町字日吉地内。市道日吉町宇部

線に程近い山間部で実施される予定だ。

業務内容は、測量業務として治山事業測量(溪間工測量、踏査選点0.2メートル)。設計業務では、溪間工設計(治山ダム設計B 1基、(治山ダム遮水型実施設計))と、流路工設計を実施するもの。このほか、用地調査業務として立竹木の調査1000平方メートルも盛り込んでいる。

耳取川橋の塗替塗装工事を条件付で公告

＝NEXCO東北支社＝

東日本高速道路東北支社は4日付で、条件付一般競争入札で実施する「東北自動車道耳取川橋塗替塗装工事」を公告した。申請書の提出期限は21日午後4時で、入札締切は11月21日午後4時。

この工事は、花巻市石鳥谷町大興寺(花巻IC)～盛岡市上鹿妻(盛岡IC)にある耳取川橋、仲田橋、鹿妻堰橋の、それぞれ上り線と下り線での橋梁塗装を行うもの。

工事数量は、一般部の塗り替え塗装約8400平方メートル、特殊部の塗り替え塗装約500平方メートル。

工期としては、750日間を予定

している。

田岡地区治山測量設計業務委託を公告

＝県二戸審査指導監＝

県北広域振興局二戸審査指導監は7日付で、簡易総合評価落札方式(簡易2型)で実施する「田岡地区治山測量設計業務委託」を公告した。申請書の提出期限は23日正午で、入札は30日に行われる。

この業務は、荒廃渓流への治山ダム工事を行うための測量・設計を実施するもの。業務対象地域は一戸町平糠字田岡地内、内容は、治山事業測量(溪間工測量)L＝0.5メートル、溪間工設計(治山ダム設計B:治山ダム遮水型実施設計)1基。委託期間は75日間を予定。

いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える



高校の「地理総合」の教科書で防災を学びませんか

岩手大学名誉教授(前岩手大学農学部森林科学科防災学研究室教授) 井良沢 道也

2022年度から高校で社会科目の「地理総合」が必修となりました。これまで地理の履修者が激減して40年が経過しました。「地理総合」は、これまでの「地理A」と比較すると、防災(備え)視点の明示、対象地域の拡大、災害事例の選択、地理的技能の育成といった点において、各段の充実が図られています。

そこで、現在出版されている五つの出版社の全6冊の「地理総合」の教科書のすべてのページに目を通してみました。その結果について簡単に感想を述べさせていただきます。

私のように50年以上も前に高校で地理を学んだ者にとって、他の小中高の教科書すべてそうですが、全ページカラーで、非常にカラフルなのは驚かされます。特に「地理総合」は世界の様子などカラーによって伝えることが多いと思います。まず、六つの教科書(A～F)の全ページで自然災害や防災に関するページ数について調べてみました。A(12.9%)、B(9.6%)、C(13.4%)、D(14.2%)、E(11.5%)、F(13.3%)で、一番少ない教科書でも全ページの1割程度、多いのは15%近くもページ数を占めています。ただし、このページには地図の見方などは入っていません。50年以上前の地理には災害は極めて少なかったような気がするのですが、自然災害や防災の記載の充実が伺えます。一方、「地理総合」では全70時間(高校では50分授業)のうち、13時間(18.6%)をこうした分野にあてています。3学期のほとんどの時間をあてています。他の教科書も大抵同様です。

ちなみに、一例として、Aの教科書の章、節、項の見出しは以下の通りです。

第3章 持続可能な地域づくりと私たち

1 節 日本の自然環境

1 日本の地形

2 日本の気候

2 節 地震・津波と防災

1 地震・津波による災害

2 地震・津波の被災地の取り組み

3 節 火山災害と防災

1 火山の恵みと災害

2 火山と共生する地域の取り組み

4 節 気象災害と防災

1 さまざまな気象災害

2 気象災害への取り組み

5 節 自然災害への備え

1 減災の取り組み

2 被災地への支援

Aの教科書は全体ページが232ページですので、30ページほど自然災害や防災にページを割いています。防災についてはハードだけでなく、ソフトではクロスロードやタイムラインなど最新の知見も入っています。写真や図も最新のものを使ってわかりやすく記載しようとする感が強いと思いました。これは他の教科書にも共通で言えることです。

ただし、私のように土砂災害を専門としている者から「地理総合」の教科書を見ると、以下のような点があげられます。

●土砂災害は地震と火山、そして気象災害のところではそれぞれ、とりあげられています。出てくる頻

度はそれなりに多いのですが、気象災害のメインの記載は洪水であることが多く、地震と火山でもメインとしてとりあげられていない。

●また、大規模崩壊や地すべりが発生して河道を閉塞し、天然ダムができるなどの複合災害についての記載も見当たらない。

●教科書の節や項にも土砂災害の名称はなく、地震・活断層、火山活動に比べて斜面災害全般の取り上げられ方が少ない。これは洪水や浸水災害にも言えます。

もちろん教科書は限られたページ数、時間の中で記載していかないとはいけませんが、教科書をすぐに改訂するのは困難と思われまますので、現状では土砂災害の多発する危険の高い地域では、地域の行政との連携をもっと密にしてはどうだろうか(洪水や浸水災害も同様)。

まとめとしては、以下の通りです。

●高校の「地理総合」は2022年度から必修科目になっています。

●自然災害や防災に、地理総合の教科書全ページの1割程度、多いのは15%近くも防災にページを割いてます。時間数では3学期のほとんど2割近くの時間を割いています。高校の必修科目「地理総合」でこれだけ防災について取り上げられている実態は、行政の防災担当者には、まだまだ知られていないと思われまます。防災教育の中核を成す科目が「地理総合」です。このため、高校とはもっと連携が必要と考えられまます。

●しかし、教科書にとりあげられている事例は全国的な災害などの事例で、その地域に起きた災害は体系的には取り上げられていない。地域の災害を高校生にどう伝えていくかは課題です。

●ハザードマップの見方などで、災害についてもっと学んでもらうことや、たとえば、土砂災害の前兆現象、全国の土砂災害事例、対策など高校側に情報提供をしていくことが必要と考えられまます。

今後、高校の地理の先生から、自然災害について何か課題で、防災関係者はどうお手伝いできるのか把握したいと考えています。なお、教科書は県内でも

取り扱い書店であれば簡単に入手できます。たいたい1500円前後でフルカラーの教科書が手に入ります。最新の防災に関する知見を高校の「地理総合」の教科書で学んでみませんか。

現在、出版されているすべての「地理総合」の教科書

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。



2024年版 岩手建設年鑑

予約受付中!! 23・24年度 格付を搭載 (検索可能なCD-ROM付)

予約 19,800円 (税込) 税込

定価 22,000円 (税込)

- 業者名簿編
- コンサルタント編
- 団体名簿編
- 資料編

CD-ROM 検索(地域別・業種別・格付別) 主な業界団体構成員が検索できます 二次加工(プリントアウト)できます

お申し込みは (株)日刊岩手建設工業新聞社 (019)623-8201 www.nikkaniwate.co.jpから

テクノハウスエイトピア 土木積算 ゴールデンリバー土木 が生まれ変わりました!

ゴールデンリバー土木 東北、九州、沖縄地区代理店

電子納品&現場管理システム 上出来BEST 全国販売総代理店

株式会社 ヤスミ 盛岡支店 〒020-0823 盛岡市門1-5-42 TEL 019-653-8888 FAX 019-623-4479 http://www.8-pia.com/

常設1 5年毎に買い換えは不要です。メンテナンス契約で継続使用できます。'98年からズ〜と不変です。

常設2 電子設計書の読み込みで2画面連動。積算画面と設計書画面が代価の階層まで連動します。連動の先駆けです。各地区の設計書に順次対応。

常設3 建設物価+積算資料の2物価データに対応。平均、安値の選択ができます。毎月自動ダウンロードで提供しています。

常設4 遠隔サポートをフル活用しています。インターネットを使い、訪問対応より早く解決でき好評です。

圧倒的な操作性をデモで実感して下さい。

塗装なら 641-3355 にお電話下さい。

内外装吹付・建築・橋梁・鉄骨・防水

塗オニ装

一般社団法人 日本塗装工業会会員 岩手県塗装工業組合員

オニ塗装工業株式会社 〒020-0125 盛岡市上堂三丁目9番23号 TEL (019) 641-3355代

安心設計で資産を守ります。

全ラインナップ構造計算書OK!!

農機倉庫・車庫・備蓄倉庫・整備場!

Vストック 積雪構造

積雪 150cm 対応

(写真は間口9m×奥行6m×軒高3.2m) ※オプション仕様で構造設計・施工:日成ビルド工業(株) 200cmにも対応可!

販売、レンタルユニットハウスのことならお任せ下さい!

東北物産株式会社 紫波郡矢野町流通センター南三丁目7番12号 本社 電話(019)637-2511代 東南支店 電話(0197)47-3171代